

今帰仁村 橋梁長寿命化修繕計画 (令和6年度改定)



今帰仁村HPより

令和7年3月



今帰仁村役場 建設課

1. 今帰仁村の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 長寿命化修繕計画の背景と目的	・ ・ ・ ・ ・	1
3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	・ ・ ・ ・ ・	1
4. 長寿命化修繕計画の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	3
5. 事業の効率化・費用の縮減に関する方針	・ ・ ・ ・ ・	3
6. 健全性の診断	・ ・ ・ ・ ・	4
7. 管理橋梁の状態及び点検結果について	・ ・ ・ ・ ・	4
8. 修繕優先度の設定	・ ・ ・ ・ ・	7
9. 修繕優先度一覧	・ ・ ・ ・ ・	8
10. 事業計画一覧	・ ・ ・ ・ ・	10

1. 今帰仁村の概要

(1) 気 候

今帰仁村の気候条件は、亜熱帯海洋性気候で平均気温は概ね23.0℃前後となっています。年間降水量は約2,000mmで6月には梅雨期、9月には台風の襲来等による降雨量の増加がみられます。

その台風の襲来により、海から内陸に運ばれる塩分による塩害を受けやすい自然環境にあります。

(2) 地理的特徴

今帰仁村の南側は、乙羽岳（標高約275m）を中心に、山並みがほぼ東西に延びています。その山麓から北および東に向かって緩傾斜地となり、さらに平坦地が広がり、耕作地は集落を中心に広がっています。村内の河川は、村の中央部を呉我山から仲宗根を通り東シナ海へと注ぐ大井川（二級河川）と今帰仁城跡の東側を流れる志慶真川（普通河川）があります。その外に四本の普通河川があり、いずれも南から北方向へと流れ東シナ海へと注いでいます。今帰仁村には、乙羽岳の山間道に7つの橋があり、県道名護本部線と国道505号を結ぶアクセス路線として利用されています。また、大井川や志慶真川を跨ぐ橋が3つあり、村を東西に結ぶアクセス路線として利用されています。

2. 長寿命化修繕計画の背景と目的

(1) 背 景

今帰仁村が管理する橋梁は、令和6年現在で35橋（橋長2m以上）で、そのうち15m以上の橋梁は10橋、15m未満の橋梁は25橋となります。

道路は村民生活を支える非常に重要な社会基盤であり、ネットワークが維持されてこそ、その機能が発揮されます。しかしながら、これらの橋梁の大半が老朽化していくなかで、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕等に要する維持管理コストが増大するものと考えられます。

(2) 目 的

このような背景から、村民の安全で安心な生活を確保するため、従来の対症療法型の管理から、予防保全型の維持管理へと転換を図ることにより、橋梁の維持管理費の縮減を図るとともに、限られた予算の中で効率的かつ効果的に橋梁の維持管理を行い、健全な道路ネットワークを保全することを目的に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級	2級	その他	合計
橋長15m以上	8	1	1	10
橋梁15m未満	8	6	11	25
合 計	16	7	12	35

対象橋梁一覧

No.	橋梁名・函渠名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間数	道路等級
1	親泊橋	中央線	今泊	プレテンション方式 PC単純中空床版	2000年	24年	24.30	12.50	1	1級
2	今泊橋	中央線	今泊	プレテンション方式 PC単純中空床版	2001年	23年	24.80	12.50	1	1級
3	ボックスカルバート1	中央線	仲尾次	PC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.30	12.00	1	1級
4	みなと橋	中央線	崎山	プレテンション方式 PC単純中空床版	1988年	36年	14.52	10.60	1	1級
5	ボックスカルバート2	中央線	謝名	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.60	10.90	1	1級
6	ボックスカルバート3	中央線	仲宗根	PC一連ボックスカルバート	不明	不明	5.10	17.30	1	1級
7	乙羽橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC2径間連続箱桁	1998年	26年	119.00	10.75	2	1級
8	与保城橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC2径間単純T桁	1999年	25年	54.00	11.50	2	1級
9	コノハ橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC3径間連結連続T桁	2000年	24年	92.20	11.00	3	1級
10	フタオ橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC3径間連結連続T桁	1998年	26年	104.00	11.25	3	1級
11	平伊橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC6径間連結連続T桁	1997年	27年	200.00	10.75	6	1級
12	かりゆし橋	新仲宗根線	仲宗根	RC2径間単純T桁	1975年	49年	31.70	7.80	2	1級
13	ボックスカルバート1	仲宗根運天線	勢理客	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.03	21.41	1	1級
14	ボックスカルバート2	仲宗根運天線	勢理客	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	4.00	17.47	1	1級
15	ボックスカルバート3	仲宗根運天線	渡喜仁	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.10	17.47	1	1級
16	ボックスカルバート	湧川線	湧川	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	4.60	8.20	2	1級
17	1号ボックスカルバート	諸志線	諸志	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	9.50	6.50	1	2級
18	桁橋	諸志与那嶺線	諸志	RC単純床版	不明	不明	6.50	4.50	1	2級
19	ボックスカルバート	与那嶺線	与那嶺	PC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.40	8.00	1	2級
20	ボックスカルバート	渡喜仁仲宗根線	仲宗根	RC二連ボックスカルバート	不明	不明	9.00	7.80	2	2級
21	ボックスカルバート	渡喜仁天底線	渡喜仁	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.60	9.75	1	2級
22	ボックスカルバート	玉城天底線	天底	PC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.30	8.00	1	2級
23	マッチャク橋	玉城天底線	天底	ポストテンション方式 PC単純中空床版	1992年	32年	26.60	6.20	1	2級
24	ボックスカルバート20	今泊長嶺線	今泊	PC一連ボックスカルバート	2020年	4年	4.80	6.00	1	その他
25	ボックスカルバート	諸志山釜原線	兼次	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.05	6.60	1	その他
26	ボックスカルバート	仲尾次線	仲尾次	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.10	7.50	1	その他
27	桁橋	仲宗根ギセブ原線	仲宗根	石積二連アーチカルバート (上面にRC床版)	不明	不明	6.20	6.30	2	その他
28	仲宗根橋	仲宗根線	仲宗根	RC2径間単純T桁	1972年	52年	24.50	6.20	2	その他
29	ボックスカルバート	仲宗根渡喜仁線	渡喜仁	RC二連ボックスカルバート	不明	不明	9.00	7.80	2	その他
30	ボックスカルバート	渡喜仁勢理客線	渡喜仁	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	6.00	6.20	1	その他
31	呉我山仲山橋	呉我山仲山原線	呉我山	門型カルバート	2020年	4年	9.60	5.00	1	その他
32	ボックスカルバート	呉我山ヒナマタ線	呉我山	RC二連ボックスカルバート	不明	不明	3.00	3.40	2	その他
33	ボックスカルバート	新与那嶺当原線	仲尾次	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.20	5.60	1	その他
34	ボックスカルバート	与那嶺前平原線	与那嶺	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.35	4.10	1	その他
35	ボックスカルバート	仲尾次当水溜線	仲尾次	RC一連ボックスカルバート	2015年	9年	3.31	4.70	1	その他

4. 長寿命化修繕計画の基本方針

(1) 健全度の把握の基本的方針

健全度の把握は、最新版の「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局）に基づく点検を定期的実施し、橋梁の損傷状況を踏まえ継続的に健全度の把握を行っていきます。

また、点検に当たっては管理する35橋の内、高架橋の3橋梁で新技術等の活用を検討し、費用の縮減や効率化に取り組むことを目標とします。

(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロール等を実施し、橋梁の安全性を確認していきます。

(3) 計画期間及び計画の見直し時期

当該橋梁長寿命化修繕計画の計画期間は令和7年度から令和11年度までの5年間とし、5年毎に定期点検の結果を踏まえて、適宜管理方針・評価の見直しを行います。

5. 事業の効率化・費用の縮減に関する方針

(1) 費用の縮減に関する方針

損傷が深刻化してから大規模な修繕（架替え等）を行う事後保全から、損傷が軽微なうちに修繕を行う予防保全へと転換し、大規模な修繕・更新（架替え）の抑制によるLCC（ライフサイクルコスト）の縮減を図るための日常的な維持管理を検討し、今後5年間に係る費用を、30%縮減することを目標とします。

(2) 新技術の活用

事業の効率化・費用の縮減を推進していくため、新技術を積極的に活用し、以下の取り組みを行います。

- 1) 点検の実施においては、高橋脚や交通規制を必要とする橋梁などにおいて新技術活用の可能性について検討を行い、コスト縮減することを目標とします。
- 2) 補修の実施においては、令和7年度から令和11年度までの5年間において、管理する橋梁のうち、村道仲尾次線ボックスカルバート・村道仲宗根線仲宗根橋・村道新仲宗根線かりゆし橋の3橋で新技術を活用し、約600万円縮減することを目標とします。

(3) 橋梁の集約化・撤去

社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路整備状況等を考慮し、施設の撤去に伴う迂回路の整備や小規模橋梁等のボックスカルバート化や横断管化による機能縮小、複数施設の集約化など今後5年間で1橋程度の集約に伴う撤去の検討を行い、点検・修繕・更新等に係る約600万円のコスト縮減を目指します。

6. 健全性の診断

道路橋定期点検要領では、今後管理者が執るべき対策を判断するための総合的な評価である「健全性の診断」を行うこととなっており、この診断は、各損傷に対して維持・補修等の計画を検討する上で必要な評価となります。

表－1 健全性の診断における判定区分

区分		状 態
I	健全	・ 損傷が認められないか、損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性はなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで（＝5年程度以内）に構造物の安全性が著しく損なわれることはない判断できる状態。
II	予防保全段階	・ 損傷が進行しており、耐久性確保（予防保全）の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等される必要があると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。
III	早期措置段階	・ 損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期（＝5年程度以内）に補修等される必要があると判断できる状態。
IV	緊急措置段階	・ 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、即時通行規制や応急措置など、緊急に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

7. 管理橋梁の状態及び点検結果について

令和2年度点検結果

健全性						III		IV		計
対策区分		A	B	C1	M	C2	E1	E2		
種別	1級	0	9	7	0	0	0	0		16
	2級	0	5	2	0	0	0	0		7
	その他	1	6	4	0	1	0	0		12
区分計		1	20	13	0	1	0	0		35
計		21		13		1	0			35
割合		60.0%		37.1%		2.9%	0.0%			100%

(1) 修繕措置の着手状況

過年度点検（平成28年度）にて健全度Ⅲと判定された橋梁は、長寿命化計画に基づき更新（架替等）完了

更新完了2橋（令和2年度完了）

点検結果一覧表(令和7年3月現在)

番 号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度 (供用年数)	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径 間 数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)				主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	点検 年度			
										主桁 頂版	横桁 側壁	床版 底版	下部構造 翼壁	支保部 継手	その他				対象部材	変状の種類	
1	親泊橋	中央線	今泊	プレテンション方式 PC単純中空床版	2000年	24年	24.30	12.50	1	I (B)	－	I (B)	I (B)	I (A)	II (M)	床版	漏水・遊離石灰	I	B	R02	
2	今泊橋	中央線	今泊	プレテンション方式 PC単純中空床版	2001年	23年	24.80	12.50	1	I (B)	－	I (A)	I (B)	I (A)	I (B)	主桁	ひびわれ、うき 漏水・遊離石灰	I	B	R02	
3	ボックスカルバート1	中央線	仲尾次	PCー連ボックスカルバート	不明	不明	2.30	12.00	1	II (C1)	II (C1)	I (A)	－	－	II (M)	頂版、側壁	ひびわれ	II	C1	R02	
4	みなと橋	中央線	崎山	プレテンション方式 PC単純中空床版	1988年	36年	14.52	10.60	1	I (B)	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	II (C1)	主桁、床版	漏水・遊離石灰	I	B	R02	
5	ボックスカルバート2	中央線	謝名	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	3.60	10.90	1	II (C1)	I (B)	I (B)	－	－	II (M)	頂版	うき 剥離・鉄筋露出	II	C1	R06	
6	ボックスカルバート3	中央線	仲宗根	PCー連ボックスカルバート	不明	不明	5.10	17.30	1	II (C1)	II (C1)	II (M)	－	－	II (M)	頂版、側壁	ひびわれ、うき 漏水・遊離石灰	II	C1	R06	
7	乙羽橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC2径間連続箱桁	1998年	26年	119.00	10.75	2	II (C1)	I (B)	I (B)	II (M)	I (A)	II (M)	主桁	漏水・帯水 土砂の堆積	II	C1	R02	
8	与保城橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC2径間単純T桁	1999年	25年	54.00	11.50	2	I (B)	I (B)	I (B)	I (B)	I (A)	II (M)	主桁、横桁	漏水・遊離石灰	I	B	R02	
9	コノハ橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC3径間連続箱桁	2000年	24年	92.20	11.00	3	I (A)	I (B)	I (A)	II (M)	I (A)	II (M)	横桁	漏水・遊離石灰	I	B	R02	
10	フタオ橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC3径間連結連続T桁	1998年	26年	104.00	11.25	3	I (B)	I (B)	I (B)	II (M)	I (A)	II (M)	PC定着部	定着部の異常	I	B	R02	
11	平伊橋	平敷伊豆味線	仲尾次	ポストテンション方式 PC6径間連結連続T桁	1997年	27年	200.00	10.75	6	I (B)	II (C1)	I (B)	I (A)	I (B)	II (C1)	横桁	漏水・遊離石灰	II	C1	R02	
12	かりゆし橋	新仲宗根線	仲宗根	RC2径間単純T桁	1975年	49年	31.70	7.80	2	II (C1)	I (B)	I (B)	II (C1)	II (C1)	II (C1)	主桁 下部構造	剥離・鉄筋露出 うき	II	C1	R06	
13	ボックスカルバート1	仲宗根運天線	勢理客	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	3.03	21.41	1	I (B)	II (M)	II (M)	－	－	II (C1)	頂版	変形・欠損	I	B	R02	
14	ボックスカルバート2	仲宗根運天線	勢理客	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	4.00	17.47	1	I (B)	I (B)	I (A)	－	－	II (C1)	頂版	ひびわれ	I	B	R02	
15	ボックスカルバート3	仲宗根運天線	渡喜仁	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	2.10	17.47	1	I (B)	I (B)	I (B)	－	－	I (B)	II (M)	頂版、側壁	ひびわれ	I	B	R02
16	ボックスカルバート	湧川線	湧川	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	4.60	8.20	2	II (C1)	I (A)	II (M)	I (A)	－	II (C1)	頂版	剥離・鉄筋露出 うき	II	C1	R02	
17	1号ボックスカルバート	諸志線	諸志	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	9.50	6.50	1	I (B)	I (B)	II (M)	－	－	II (M)	頂版	ひびわれ、うき	I	B	R02	
18	桁橋	諸志と那嶺線	諸志	RC単純床版	不明	不明	6.50	4.50	1	I (B)	－	－	I (B)	－	Ⅲ (C2)	主桁 防護柵	漏水・遊離石灰 破断	I	B	R02	
19	ボックスカルバート	与那嶺線	与那嶺	PCー連ボックスカルバート	不明	不明	3.40	8.00	1	II (C1)	II (C1)	I (A)	－	－	I (B)	頂版、側壁	うき、ひびわれ	II	C1	R06	
20	ボックスカルバート	渡喜仁仲宗根線	仲宗根	RC二連ボックスカルバート	不明	不明	9.00	7.80	2	I (B)	I (A)	I (A)	I (A)	－	II (M)	頂版	ひびわれ	I	B	R02	
21	ボックスカルバート	渡喜仁天底線	渡喜仁	RCー連ボックスカルバート	不明	不明	3.60	9.75	1	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	－	II (M)	側壁	漏水・遊離石灰	I	B	R02	
22	ボックスカルバート	玉城天底線	天底	PCー連ボックスカルバート	不明	不明	2.30	8.00	1	II (C1)	II (C1)	I (B)	－	－	II (M)	頂版、側壁	剥離・鉄筋露出 うき、ひびわれ	II	C1	R06	
23	マツチャク橋	玉城天底線	天底	ポストテンション方式 PC単純中空床版	1992年	32年	26.60	6.20	1	I (B)	－	－	I (A)	I (A)	II (M)	主桁	ひびわれ、うき	I	B	R02	

点検結果一覧表(令和7年3月現在)

番 号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度 (供用年数)	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径 間 数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	点検 年度	
										主桁 頂版	横桁 側壁	床版 底版	下部構造 翼壁	支承部 継手	その他	対象部材	変状の種類				
24	ホツツカルバート20	今泊長懸線	今泊	PC一連ボックスカルバート	2020年	4年	4.80	6.00	1	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	—	II (C1)	I (A)	頂版、側壁	漏水・逆離石灰	I	B	R06
25	ボックスカルバート	諸志山釜原線	兼次	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.05	6.60	1	II (C1)	I (B)	I (B)	I (B)	—	—	—	頂版	うき 剥離・鉄筋露出	II	C1	R02
26	ボックスカルバート	仲尾次線	仲尾次	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.10	7.50	1	III (C2)	II (C1)	I (A)	I (A)	—	—	—	頂版	うき 剥離・鉄筋露出	III	C2	R02
27	桁橋	仲宗根ギセブ原線	仲宗根	石積二連アーチカルバート(上面にRC床版)	不明	不明	6.20	6.30	2	I (A)	—	II (C1)	I (A)	—	—	—	床版	うき 剥離・鉄筋露出	II	C1	R02
28	仲宗根橋	仲宗根線	仲宗根	RC2径間単純1桁	1972年	52年	24.50	6.20	2	II (C1)	II (C1)	II (C1)	II (C1)	II (C1)	I (A)	I (A)	主桁、横桁 床版、下部構造	剥離・鉄筋露出	II	C1	R02
29	ボックスカルバート	仲宗根渡喜仁線	渡喜仁	RC二連ボックスカルバート	不明	不明	9.00	7.80	2	I (B)	I (B)	I (A)	I (A)	—	—	—	頂版	うき、ひびわれ	I	B	R02
30	ボックスカルバート	渡喜仁勢理客線	渡喜仁	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	6.00	6.20	1	I (A)	I (A)	I (A)	I (A)	—	—	—	—	—	I	A	R02
31	呉我山仲山橋	呉我山仲山原線	呉我山	門型カルバート	2020年	4年	9.60	5.00	1	I (A)	I (A)	I (A)	—	—	—	—	その他 (排水ます)	土砂詰まり	I	B	R06
32	ボックスカルバート	呉我山ヒナマタ線	呉我山	RC二連ボックスカルバート	不明	不明	3.00	3.40	2	I (B)	I (B)	II (C1)	II (C1)	—	—	—	底版	剥離・鉄筋露出 洗堀	II	C1	R02
33	ボックスカルバート	新与那端当原線	仲尾次	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	3.20	5.60	1	I (B)	I (A)	I (A)	I (A)	—	—	—	頂版	ひびわれ	I	B	R02
34	ボックスカルバート	与那端前平原線	与那端	RC一連ボックスカルバート	不明	不明	2.35	4.10	1	I (B)	I (A)	I (B)	I (B)	I (A)	—	—	底版	洗堀	I	B	R02
35	ボックスカルバート	仲尾次当水溜線	仲尾次	RC一連ボックスカルバート	2015年	9年	3.31	4.70	1	I (A)	I (B)	I (B)	I (B)	I (A)	—	—	側壁	うき	I	B	R02

判定区分: I (健全)

- ・損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因・規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性がなく、放置しても次回の定期点検まで(=5年程度以内)に構造物の安全性が著しく損なわれることはないと判断できる状態。

判定区分: II (予防保全段階)

- ・損傷が進行しており、耐久性確保(予防保全)の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等されることがあると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。

判定区分: III (早期措置段階)

- ・損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期に補修等されることがあると判断できる状態。

判定区分: IV (緊急措置段階)

- ・即時の通行規制や応急措置など、即時に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

表-1 橋梁定期点検要領 における対策区分の判定区分

区分		判定の内容	
健全性	対策区分		
Ⅰ	A		損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
	B		状況に応じて補修を行う必要がある。
Ⅱ	C1		予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
	M		維持工事に対応する必要がある。
Ⅲ	C2		橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
Ⅳ	E1		橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
	E2		その他、緊急対応の必要がある。
	S1		詳細調査の必要がある。
	S2		追跡調査の必要がある。

8. 修繕優先度の設定

橋梁を効率的に維持管理していくため、対策を行う優先順位をルール化しました。優先順位は、各橋梁の「健全性」と「重要性」から判断します。

(1) 橋梁の健全性

健全度の評価は点検結果をもとに、橋梁に求められる「耐荷性」「災害抵抗性」「走行安全性」で評価をします。
評価が同等な場合は、重要度の高いものを優先します。

(2) 橋梁の重要性

重要性は、橋梁の諸元や架設環境、交差条件、路線の利用状況などから橋梁毎に評価をします。

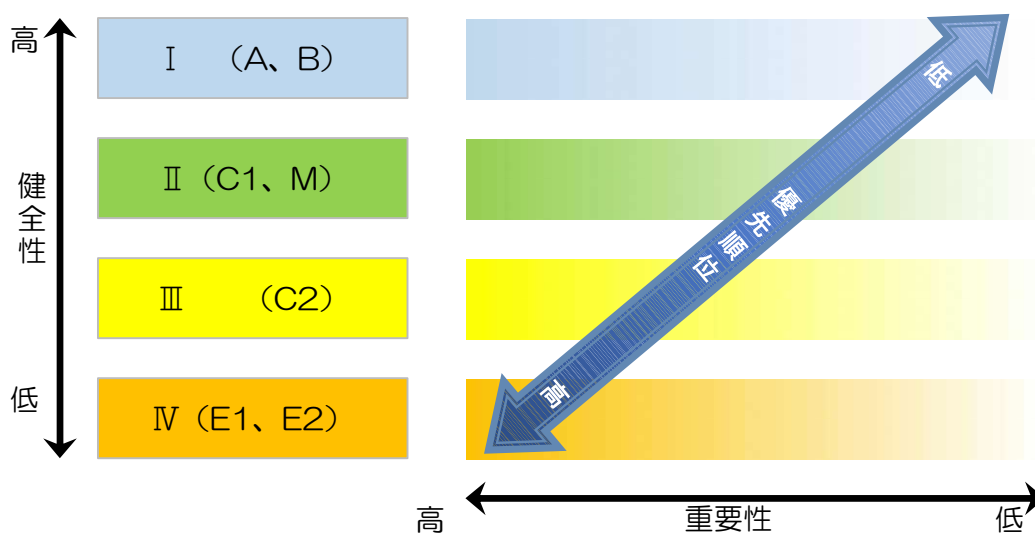
(3) 修繕優先度の設定

修繕優先度は橋梁の損傷度評価点（損傷度＝100－健全度）と重要度評価点の合計で評価します。

なお、合計する場合は係数を設定しており損傷度に重みを置いて評価します。

（損傷度：重要度＝6（ α ）：4（ β ））

$$\text{修繕優先度} = \alpha \times (100 - \text{健全度}) + \beta \times \text{重要度}$$



健全性と重要性を考慮した優先順位

(4) 目標

橋梁の維持管理を効率的に行うことを目標に、修繕優先度の高い橋梁からから措置を行い、予防保全段階、健全へと移行していくことを目標とします。

9. 修繕優先度評価結果一覧

$$\text{修繕優先度評価点} = (\text{100} - \text{健全度評価点}) \times 0.6 + \text{重要度評価点} \times 0.4$$

修繕優先順位	橋梁名・溝橋名	路線名称	所在地	架設年次	供用年数	径間数	橋長（m）	健全性の毎年の診断	対策区分の評価	各重要度評価項目の評価点										各評価指標の評価点				健全度評価点	健全度順位	修繕優先度	
										緊急輸送要路施設（アークセス道路）	道路等級	バス路線	迂回路の有無	観光地・アークセス	塩害地域	竣工年時	橋長	交差条件	立地条件	重要度評価点	重要度順位	耐荷性	災害抵抗性				走行安全性
1	ボックスカルバート3	中央線	仲宗根	不明	不明	1	5.10	Ⅱ	C1	17.0	4.0	2.0	0.0	0.0	6.0	4.0	0.0	0.0	0.0	33.0	4	64.00	52.00	82.70	62.94	4	35.44
2	ボックスカルバート	仲尾次線	仲尾次	不明	不明	1	3.10	Ⅲ	C2	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0	24.0	10	50.00	64.00	66.70	58.94	1	34.24
3	仲宗根橋	仲宗根線	仲宗根	1972年	52年	2	24.50	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	8.0	4.8	0.0	0.0	24.8	9	58.30	69.30	52.00	61.47	2	33.04
4	かりゆし橋	新仲宗根線	仲宗根	1975年	49年	2	31.70	Ⅱ	C1	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0	4.8	0.0	0.0	24.8	8	64.50	55.50	61.00	61.50	3	33.02
5	乙羽橋	平敷伊豆味線	仲尾次	1998年	26年	2	119.00	Ⅱ	C1	0.0	4.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	19.0	4.5	0.0	35.5	1	72.50	80.50	45.00	70.20	5	32.08
6	ボックスカルバート2	中央線	謝名	不明	不明	1	3.60	Ⅱ	C1	17.0	4.0	2.0	0.0	0.0	6.0	4.0	0.0	0.0	0.0	33.0	3	74.00	82.00	72.00	76.80	8	27.12
7	平伊橋	平敷伊豆味線	仲尾次	1997年	27年	6	200.00	Ⅱ	C1	0.0	4.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	19.0	4.5	0.0	35.5	2	81.50	80.20	74.90	79.67	13	26.40
8	ボックスカルバート	与那嶺線	与那嶺	不明	不明	1	3.40	Ⅱ	C1	17.0	2.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	13	74.00	72.00	94.00	77.20	9	22.48
9	フタオ橋	平敷伊豆味線	仲尾次	1998年	26年	3	104.00	I	B	0.0	4.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0	31.0	5	83.50	88.20	75.90	83.86	19	22.08
10	ボックスカルバート	玉城天底線	天底	不明	不明	1	2.30	Ⅱ	C1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0	9.0	29	70.00	72.00	68.70	70.54	6	21.28
11	与保城橋	平敷伊豆味線	仲尾次	1999年	25年	2	54.00	I	B	0.0	4.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	9.5	4.5	0.0	26.0	6	84.50	87.90	66.10	82.18	16	21.09
12	ボックスカルバート	湧川線	湧川	不明	不明	2	4.60	Ⅱ	C1	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	20.0	15	77.40	82.00	72.70	78.30	10	21.02
13	ボックスカルバート	呉我山にナマタ線	呉我山	不明	不明	2	3.00	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	3.0	8.0	0.0	0.0	0.0	16.0	16	82.00	76.00	81.30	79.46	12	18.72
14	柘橋	仲宗根ギゼブ原線	仲宗根	不明	不明	2	6.20	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	8.0	0.0	0.0	0.0	14.0	22	78.00	86.00	66.00	78.80	11	18.32
15	ボックスカルバート	諸志山釜原線	兼次	不明	不明	1	2.05	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	8.0	0.0	0.0	0.0	14.0	21	74.00	82.00	88.00	80.00	14	17.60
16	コノハ橋	平敷伊豆味線	仲尾次	2000年	24年	3	92.20	I	B	0.0	4.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	9.5	4.5	0.0	26.0	7	94.40	88.00	76.80	88.32	31	17.41
17	ボックスカルバート1	中央線	仲尾次	不明	不明	1	2.30	Ⅱ	C1	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	34	72.00	72.00	93.30	76.26	7	17.04
18	観泊橋	中央線	今泊	2000年	24年	1	24.30	I	B	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	4.8	0.0	0.0	14.8	18	82.70	88.50	67.30	81.94	15	16.76

10. 事業計画一覧

【凡例】更新: 架替工事 修繕: 補修・補強工事 監視: 点検毎に修繕の必要性を判断

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m ²)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)										備考
											2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	
											R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
1	ボンクスカルバート3	中央線	5.1	17.3	88.2	不明	不明	R06	II	予防保全段階 (修繕)	294 定期点検	0	0	0	600 調査設計費	294 定期点検	0	0	0	0	0 令和9年度 更新事業着手予定 (令和8年度の点検後 に判断)
2	ボンクスカルバート	仲尾次線	3.1	7.5	23.3	不明	不明	R02	III	予防保全段階 (修繕)	300 調査設計	1,650 定期点検	修繕工事 断面修復 表面含浸	0	0	0	231 定期点検	0	0	0	0 令和6年度 修繕事業着手予定
3	仲宗根橋	仲宗根線	24.5	6.2	151.9	1972年	52年	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	590 定期点検	3,200 調査設計	修繕工事 ひびわれ注入 断面修復 表面含浸	0	0	590 定期点検	0	0	0	令和8年度 更新事業着手予定 (令和7年度の点検後 に判断)
4	かりゆし橋	新仲宗根線	31.7	7.8	247.3	1975年	49年	R06	II	予防保全段階 (修繕)	641 定期点検	0	0	0	641 調査設計費	5,000 修繕工事 断面修復 表面含浸	0	0	641 定期点検	0	令和10年度 修繕事業着手予定 (令和9年度の点検後 に判断)
5	乙羽橋	平敷伊豆味線	119.0	10.8	1,279.3	1998年	26年	R02	II	予防保全段階 (監視)	0	925 定期点検	0	0	0	0	925 定期点検	0	0	0	次回点検後に検討
6	ボンクスカルバート2	中央線	3.6	10.9	38.2	不明	不明	R06	II	予防保全段階 (監視)	263 定期点検	0	0	0	0	263 定期点検	0	0	0	0	(令和11年度の点検 後に判断)
7	平伊橋	平敷伊豆味線	200.0	10.8	2,150.0	1997年	27年	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	925 定期点検	0	0	925 定期点検	128 調査設計	1,580 修繕工事 断面修復 表面含浸	0	0	0	令和11年度 修繕事業着手予定 (令和10年度の点検後 に判断)
8	ボンクスカルバート	与那嶺線	3.4	8.0	27.2	不明	不明	R06	II	予防保全段階 (修繕)	231 定期点検	0	0	0	469 調査設計 (定期点検)	0	0	0	0	0	令和9年度 修繕事業着手予定 (令和8年度の点検後 に判断)
9	フタオ橋	平敷伊豆味線	104.0	11.3	1,170.0	1998年	26年	R02	I	措置不要	0	925 定期点検	0	0	0	0	925 定期点検	0	0	0	0
10	ボンクスカルバート	玉城天底線	2.3	8.0	18.4	不明	不明	R06	II	予防保全段階 (修繕)	231 定期点検	0	0	0	1,040 調査設計 修繕工事 ひびわれ注入 表面含浸	0	0	0	0	231 定期点検	令和9年度 修繕事業着手予定 (令和8年度の点検後 に判断)
11	与保城橋	平敷伊豆味線	54.0	11.5	621.0	1999年	25年	R02	I	措置不要	0	798 定期点検	0	0	0	0	798 定期点検	0	0	0	0
12	ボンクスカルバート	湧川線	4.6	8.2	37.7	不明	不明	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	231 定期点検	0	0	865 調査設計 修繕工事 ひびわれ注入 表面含浸	231 定期点検	0	0	0	231 定期点検	令和9年度 修繕事業着手予定 (令和8年度の点検後 に判断)
13	ボンクスカルバート	呉我山にナマタ線	3.0	3.4	10.2	不明	不明	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	231 定期点検	0	0	865 調査設計 修繕工事 断面修復 表面含浸	231 定期点検	0	0	0	231 定期点検	令和9年度 修繕事業着手予定 (令和8年度の点検後 に判断)

10. 事業計画一覧

【凡例】更新: 架替工事 修繕: 補修・補強工事 監視: 点検毎に修繕の必要性を判断

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m ²)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)										備考
											2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	
											R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
14	桁橋	仲宗根ギセブ原線	6.2	6.3	39.1	不明	不明	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	定期点検	269	0	0	定期点検	269	0	0	0	令和10年度 修繕事業着手予定 (令和6年度の点検後 に判断)
15	ボックスカルバート	諸志山釜原線	2.1	6.6	13.5	不明	不明	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	定期点検	231	調査設計 修繕工事 断面修復 表面塗装	定期点検	231	0	0	0	231	令和9年度 修繕事業着手予定 (令和6年度の点検後 に判断)
16	コノハ橋	平敷伊豆味線	92.2	11.0	1,014.2	2000年	24年	R02	I	措置不要	0	定期点検	798	0	0	0	798	0	0	0	
17	ボックスカルバート1	中央線	2.3	12.0	27.6	不明	不明	R02	II	予防保全段階 (修繕)	0	定期点検	263	0	5,500	定期点検	263	0	0	0	令和9年度 修繕事業着手予定 (令和6年度の点検後 に判断)
18	鵜泊橋	中央線	24.3	12.5	303.8	2000年	24年	R02	I	措置不要	0	定期点検	363	0	0	0	363	0	0	0	
19	今泊橋	中央線	24.8	12.5	310.0	2001年	23年	R02	I	措置不要	0	定期点検	363	0	0	0	363	0	0	231	
20	みなと橋	中央線	14.5	10.6	153.9	1988年	36年	R02	I	措置不要	0	定期点検	312	0	0	0	312	0	0	231	
21	桁橋	諸志与那嶺線	6.5	4.5	29.3	不明	不明	R02	I	措置不要	0	定期点検	269	0	0	0	269	0	0	0	
22	ボックスカルバート3	仲宗根運天線	2.1	17.5	36.7	不明	不明	R02	I	措置不要	0	定期点検	263	0	0	0	263	0	0	0	
23	ボックスカルバート	新与那嶺当原線	3.2	5.6	17.9	不明	不明	R02	I	措置不要	0	定期点検	231	0	0	0	231	0	0	0	
24	ボックスカルバート	仲尾次当水溜線	3.3	4.7	15.6	2015年	9年	R02	I	措置不要	0	定期点検	231	0	0	0	231	0	0	0	
25	ボックスカルバート2	仲宗根運天線	4.0	17.5	69.9	不明	不明	R02	I	措置不要	0	定期点検	263	0	0	0	263	0	0	0	
26	ボックスカルバート	渡喜仁仲宗根線	9.0	7.8	70.2	不明	不明	R02	I	措置不要	0	定期点検	262	0	0	0	262	0	0	0	

10. 事業計画一覧

【凡例】更新: 架替工事 修繕: 補修・補強工事 監視: 点検毎に修繕の必要性を判断

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m ²)	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)										備考
										2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	
										R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
27	ボックスカルバート	与那嶺前平原線	2.4	4.1	9.6	不明	不明	R02	I	措置不要	0	231	0	0	0	231	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
28	マンチヤク橋	玉城天底線	26.6	6.2	164.9	1992年	32年	R02	I	措置不要	0	590	0	0	0	590	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
29	ボックスカルバート	仲宗根渡嘉仁線	9.0	7.8	70.2	不明	不明	R02	I	措置不要	0	262	0	0	0	262	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
30	1号ボックスカルバート	諸志線	9.5	6.5	61.8	不明	不明	R02	I	措置不要	0	262	0	0	0	262	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
31	ボックスカルバート1	仲宗根運天線	3.0	21.4	64.9	不明	不明	R02	I	措置不要	0	263	0	0	0	263	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
32	ボックスカルバート	渡嘉仁天底線	3.6	9.8	35.1	不明	不明	R02	I	措置不要	0	231	0	0	0	231	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
33	ボックスカルバート20	今泊長敷線	4.8	6.0	28.8	2020年	4年	R06	I	措置不要	231	0	0	0	0	231	0	0	0	0
											定期点検				定期点検					
34	呉我山仲山橋	呉我山仲山原線	9.6	5.0	48.0	2020年	4年	R06	I	措置不要	262	0	0	0	0	262	0	0	0	0
											定期点検				定期点検					
35	ボックスカルバート	渡嘉仁勢理寄線	6.0	6.2	37.2	不明	不明	R02	I	措置不要	0	262	0	0	0	262	0	0	0	0
											定期点検					定期点検				
										2,453	12,494	3,200	42,590	6,112	6,678	10,505	0	641	2,542	